

地域に開かれた本のイベントで出版文化の継続と普及

瀬戸内ブッククルーズ実行委員会

活動の目的

本との多様な出会いを提供する場所と機会を作り、書店、古書店、図書館、出版社、作者、読者、周辺住民たちの出会いから、出版文化の啓蒙、地域文化の振興、多様性への理解を目的とする。

活動の内容及び経過

・平成29年10月27日、28日の2日間「イチョウ並木の本まつり」を開催した。会場は、大学内の地域に開かれた施設として寄贈されたJテラスカフェ。

岡山を中心に、香川、徳島、広島、兵庫、大阪、京都など48の店舗が、本の販売や展示、本に関わる雑貨、食品などを提供した。2日間の開催の中で、本のイベントも行った。

「ワークショップ」は、子ども向けには「ハンコで作るどうぶつ絵本」として、オリジナルの小冊子、スタンプを使って、小さな本を作る作業などを体験した。一般来場者向けには、無料で配布した「本楽1（本屋に行くと、楽しいことがある）」をスタンプで彩る体験や、トートバッグ作り、カード織りによる菜作り体験などを行った。

「ブックトーク」は、出版社や著者などによる本にまつわる話、本の楽しみ方、出会い方、本屋の楽しい利用の仕方などについて、話をお聞きした。出演は、京都「ホホホ座」の山下さん、東京「大福書林」の瀧さん、香川「瀬戸内人」の浅野さんなど。

「紙しばい&読みきかせ」は、保育士さんなどの協力で、子ども向けのイベントを企画した。子どもたちだけでなく、親子で楽しめた。

「文豪珈琲」は、岡山の誇る内田百閒を始め、横溝正史や、夏目漱石、ヘミングウェイなどの愛した珈琲やお菓子を再現して提供。

「イチョウノキブックタワー」は、黄色の装丁の本を集めて並べ、イチョウの木に見立てて展示販売した。意外な本が並び、来場者の目を引いた。

「除籍本コーナー」は、岡山大学図書館の協力で、除籍本1000冊を廉価で販売した。除籍本の販売は珍しく選書が個性的で、年配の男性をはじめ、本好きの来場者に好評だった。

出店店舗の展示販売は、対面販売を基本としており、一般的な書店や、図書館で本を選ぶのとは異なり、店主がセレクトした本棚を見ながら、話をし、本を選ぶという貴重な体験となり、忘れられていた本を選ぶ楽しみを提示できた。

ボランティア延べ40名程度の参加や、出展者、来場者が本を媒体にコミュニケーションをとり、有意義な2日間となった。来場者約1400名、1日目は晴れ、2日目は雨だった。

・平成29年11月25日は「秋の夜長の本だんぎ」をJテラス



カフェで開催した。

岡山「古本班猫軒」渡邊を聞き手に、倉敷「蟲文庫」の田中さんをお呼びした。書籍「星と暮らす」をテーマに、天文観察や本、古本屋について話していただいた。来場人数57名、ボランティア5名。

・平成30年3月17日は「小さな春の本めぐり」を開催。24の店舗が参加し、店主のトークイベントや、紙芝居、本屋めぐりを楽しんだ。来場者数約500名、天候は晴れ。

活動の成果・効果

出版文化の衰退を心配される中、既存の書店や図書館で本を選ぶのとは異なる、コミュニケーションをとりながら特別な場所で本を選ぶという、記憶に残る固有な体験として提供できた。

今後の課題と問題点

今年度は、岡山大学図書館の協力も受けることができ、「瀬戸内ブッククルーズ」の知名度も多少上がって来たが、まだまだ存在が知られておらず、いろいろな方々の協力や参加が必要と認識している。本をテーマとした交流会「本楽茶会」なども加え、本と本屋、出版文化の魅力を今後も発信していく。

- 代表者：根木慶太郎 ●所在地：玉野市八浜町見石
- TEL：0863-51-2920 ●E-MAIL：neki@451books.com
- URL：https://www.facebook.com/setobc/
- 設立年：2016年 ●メンバー数：4名